

網津公民館だより

令和7年
3月号

日一日と春めく季節となりました。

網津公民館だより 3月号をお届けします。

<第6回青空教室 読み聞かせを楽しもう>

1月18日(土)開催

第6回子供地域活動「読み聞かせを楽しもう」は、子供3名、大人16名の参加を得て、網津公民館和室で開催しました。

今回はあみつ絵本の会創立21周年記念企画として、8名の指導者の方が入れ替わり立ち代わり、手あそび・読み聞かせ・折り紙あそびを行うという豪華な催しとなりました。

館長挨拶の後、最初の演目は、手あそび「ろうそくのうた」を全員で合唱、大人も童心に帰り、楽しい舞台の幕が開きました。

次が読み聞かせです。モニターに絵本の場面が映り、キーボード演奏も加わって「あおい目のこねこ」「ちいさいちいさいおばあさん」「ブラックサンボくん」「大工と鬼六」など臨場感あふれる8話のお話を聞くことができました。途中で「鬼のパンツ」を身振り手振りも交えて全員で熱唱、老いも若きも楽しい時間を過ごしました。

最後に、折り紙あそびを行いました。作ったのは今年の干支にちなんだ縁起物のくねくね動く蛇。そして、グライダーのような飛行をする紙飛行機でした。子供たちからは「楽しかった～」「また来たい」など喜びの言葉が寄せられました。最後に、今回の素敵な活動を行ってくださった、あみつ絵本の会の皆様に深く感謝いたします。

本当にありがとうございました。



<館長からのメッセージ>

公民館だより3月号は、青空教室の活動報告が1本だけでしたので、かねて温めていたネタの「海から来たお地藏様」を掲載してみました。まだまだ世の中には不思議なことがたくさんあると思います。夢とロマンを感じるお話。忘れてはいけないと思います。

< 「海から来たお地藏様」 >

そのお地藏様は住吉自然公園駐車場南西端に有明海を見渡しながら鎮座しています。最初にこのお地藏様に気づいたのは、令和5年4月ジョギング中のことでした。(写真①参照)この時は、お地藏様本体がアスファルト道の横に無造作に置かれ、左横に賽銭と思われる小銭が入ったビニールの袋。右横におもちゃのような阿修羅像が置いてあるだけでした。そして4月28日にはコンクリートブロック1個が背後に置かれているのを確認。(写真②参照)さらに月日は流れ、現在は背後に風よけの覆いをコンクリートブロックで補強を入れて防寒対策をしております。(写真③参照)一体誰がこのようなことをしたのでしょうか? 謎が謎をよぶため、うわさを頼りに、このお地藏様の第1発見者を探し出しました。インタビューを行うと「確かに私が発見者です。住吉自然公園で漁業関係の仕事をしていて、手を洗うため海床路に降りて行ったら波打ち際にお地藏様が立っていました。このままでは可哀そうなので、公園内に持ち上がりました。確か、4年か5年前のことだと記憶しています」との証言を得ました。不思議な話です。お地藏様が洪水などの水害で流れ着いた。などいろんな説はあると思いますが……。ひょっとしたら我々の苦しみを救うために海を渡ってこられたのかもしれない。信じるか、信じないかはあなた次第です。(館長記)



写真1



写真2



写真3